

2025 年度 授業コード: SDJ05800

授業科目	地域貢献・ボランティア実践					実務家教員担当科目	-			
単位	1	履修	選択	開講年次	1	開講時期	通年			
担当教員	今村 浩司									
授業概要	現代社会においては、「地域貢献・ボランティア」という言葉が多岐に渡って使用されています。「地域貢献・ボランティア」は多種多様の活動があり、そしてその組織も多く存在します。 本講では、前期に開講した「地域貢献・ボランティア概論」の講義により地域貢献・ボランティアの理論や実践について学びを深めたことを、自ら「地域貢献・ボランティア活動に参加すること」により、自分自身の社会的有効性や存在価値を見出し、社会に還元できるような豊かな人生を目指すことを目的としています。 内容は、本学が指定した地域貢献・ボランティア活動団体が実施する活動に実際に参加をします。その後に、社会の中で実際にボランティアや地域貢献活動を実践したことをレポートにまとめて、更なる学びを深めます。 本講の運営方法については、「説明会」で詳細かつ具体的説明を実施します。「説明会」の日程については UNIPA で案内しますので必ず確認をして参加してください。 実際の活動に関しては、講義時間外に学外の現場に出向いて参加をすることになります。									
	授業形態				対面授業		授業方法		フィールドワーク（学外）	
	学生が達成すべき行動目標									
	標準的 レベル	1、ボランティア活動や地域貢献活動等の理念、役割を説明できる。 2、社会の中でのボランティア活動や、地域貢献活動等の関係性を説明できる。 3、社会の中での多様な課題と、地域社会に貢献する必要性を説明できる。 4、学内での学びを、地域をフィールドとした総キャンパスにおいて活用することができる。								
理想的 レベル	1、ボランティア活動や地域貢献活動等の理念、役割を理解したうえで説明できる。 2、社会の中でのボランティア活動や、地域貢献活動等の関係性を理解したうえで説明できる。 3、社会の中での多様な課題を理解したうえで、地域社会に貢献する必要性を説明できる。 4、学内での学びを理解したうえで、地域をフィールドとした総キャンパスにおいて活用することができる。									
評価方法・評価割合										
評価方法			評価割合（数値）			備考				
試験										
小テスト										
レポート			50							
発表（口頭、プレゼンテーション）										
レポート外の提出物										
その他			50			地域貢献・ボランティア活動先での評価票				
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング										
DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	-	ナンバリング	-	

学習課題（予習・復習）		1回の目安時間（時間）
WEB サイト、新聞、情報誌等で、ボランティアや社会貢献活動に関する記事等を確認する。		0
授業計画		
第 1 回	「説明会」において、具体的説明を実施 1, 地域貢献・ボランティア活動の場所 2, 地域貢献・ボランティア活動の時間 3, 地域貢献・ボランティア活動の方法 4, 地域貢献・ボランティア活動のレポート 5, 地域貢献・ボランティア活動の評価票 6, その他	
テキスト	特に設定はしません。関連資料を配布します。	
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義中に必要に応じて紹介します。 また、本学の図書館には、さまざまな「ボランティア」「社会貢献」「地域貢献」「NPO」「NGO」等に関する本がありますので、最低3冊は読むように心がけてください。	
課題に対するフィードバックの方法	地域貢献・ボランティア活動を実施した団体の指導者からの評価票を基盤として、指導者よりフィードバックして頂きます。	
学生へのメッセージ・コメント	この科目は、通常の履修登録とは異なるので、注意をしてください。 別途開催される「説明会」に参加することが必要です。 時間割上に授業科目が設定されないため、科目担当者からの連絡を UNIPA などですべて確認をしてください。 WEB サイト、新聞、情報誌等を通して、社会情勢や地域の課題について関心を持つように心がけてください。 大学や地域の身近なところで活動している団体についての、情報提供を行います。ウェブサイト等で調べてください。 また、活動している団体の研修会や活動についても情報提供を行いますので、可能ならば参加してみてください。	